

令和6年度タウンミーティング ひがし野地区	
開催日時	令和6年5月26日（日） 13:30～15:00
開催場所	守谷中央図書館 視聴覚室
出席者	市民8名
議事内容および要旨	
【開会】 【市長挨拶・説明】 資料「未来へつなぐもりやビジョン」に基づき説明 【主な意見と回答】 （参加者） 守谷市には縁もゆかりもなく、住んでいる方がたくさんいらっしゃいます。守谷市を選んで、このまちに期待して住んでいます。市長の子育て王国をつくるんだという思いに感銘して応援してきましたが、なかなか私たちの思いが形になっていないなと思っております。私たちは、お金を投資して守谷市を選んでいるので、この価値を維持し下げたくないです。ひがし野地区には、図書館もない、学校もない、児童館もない、今でこそ保育所はありますが、保育所も駅から反対の方向にあります。駅から5分という立地で土地を購入しましたが、保育所まで逆方向に行って、戻って、電車に乗るまでに30分かかります。市民サービスは色々あり市全体で見ると充実していますが、今、人口が増えているひがし野・松並青葉地区については、今後どのような施策を展開していくかお伺いしたいです。 （市長） 常総線から南側は、住宅都市整備公団（現「UR都市再生機構」）によって整備され、公共施設等が整っています。一方で常総線北側には公共施設が少ないため、子どもたちの遊び場、子どもたちを預けられる施設を松並青葉・ひがし野地区に設置したいと考えております。現在は、施設を設置するべき土地を探している段階でございます。 （参加者） ランチ守谷内の店舗が空いていますので、どうでしょうか。 （市長） ランチ守谷は、ご存じかと思いますが、大和リースにお貸しして運営いただいているため、難しい状況です。その他の土地について、様々な事業者、土地所有者に交渉させていただいておりますが、決定に至っていない状況です。	

(参加者)

昨年までの情報発信だと、将来の人口推計では守谷市の人口は増えていかないという前提に立って物事が進んでいたと感じますが、今年度の国立社会保障・人口問題研究所の最新データにおいて、2050年には5,000人増加するというデータが出ました。面積が狭いので人口を増やせる余地が少ないということは分かるのですが、今後、都市軸道路が開通すれば、千葉県側から人が流れてくるのではないのでしょうか。そのような状況になったときに、常磐自動車道路周辺の再開発をどのようにしていくのかも含め、この先30年の守谷市のビジョンをお聞かせください。また、黒内小学校のみならず、中学校も注目しています。教育委員会からのお話では、学校のプールを壊して校舎を建てるとのことですが、体育館、校庭、部活はどうなるのでしょうか。黒内小学校は、体育館が足りません。うちの子は、1週間に3回しか外で遊ばません。プールについては人数が多過ぎるからという理由で1シーズン2回のみです。東京近郊で、これだけ環境が整っていれば、人口は減らないと思います。私、みずき野地区の出身ですが、今後、みずき野地区では、必ず空き家が増えます。守谷市に家を買いたいがあきらめた人が、みずき野地区の住宅を購入するのではないのでしょうか。

(市長)

私は、みずき野地区の復活が守谷市全体の活性化につながると思っています。みずき野地区には、すでに空き家が70軒ぐらいあります。守谷市は、交通の便も良いですし、東京都内であれば十分通勤できます。そして、子育てするには、近くに親がいる方が良いということもあり、みずき野地区の空き家を購入する方もいらっしゃると思います。人口減少は、自治体にとってプラスになりませんので、守谷市としても何らかの形で魅力をつくっていかうと鋭意努力をしています。一方で、財政的な部分というのはかたく見ておく必要があると思います。

(参加者)

各地区の人口推移、ここ15年分を分析してみました。年齢推移を見ますと、久保ヶ丘地区は人口が減っておらず、みずき野地区と御所ヶ丘地区が減っています。そこを分析していくと見えてくるものがあると思います。取捨選択は難しいかもしれませんが、守谷市全体の人口を増やすためにも、高齢世帯ではなく、30代、40代が増える施策に取り組んでほしいと思います。

(市長)

私は、政治というのは未来づくりであると思っています。今の守谷市は、先達が、例えば40年以上前に守谷市全域の下水道の施設を配置していただいたことであったり、工業団地を形成していただいたり、まちづくりに取り組んできた結果です。このようなことから、守谷市は非常に恵まれていると認識しております。防災の先生と話

すと守谷市は水害が避けられる、地盤がしっかりしているから被災する人も少ない、住宅も新しいので災害に強いということを聞いています。また、先ほどもありましたように、公共施設の立地が偏ってしまっているということは認識しております。皆様のご意見、ご希望を聞きながら公共施設の立地を検討していく必要があると思います。

(参加者)

景観について、私の考えを述べさせていただきます。もりんふおにいろいろ投稿させていただいています。しかし、本来は、市の方から解決することが筋で、もりんふおに投稿があったことだけ対応するということではないと思います。業務に支障がない限り、日常のパトロール中ごみを拾ってほしいです。市には、路面清掃車があると思いますが、マニュアル車で運転できない職員もいるため使っていないと聞きました。使わないのは税金の無駄遣い、活用いただきたいと思います。城址公園周辺で集めたごみを市に回収してほしいとお願いしたところ「勝手にごみを拾わないでほしい」と言われました。また、市内の汚れたガードレールは洗浄してほしいです。さらに、ブランチ守谷に隣接するプロムナード水路を埋めると広大な土地になるので小学校や幼稚園を建てるのはどうでしょうか。

(市長)

景観というのは、まちの魅力を構成する一つであると思っておりますし、市民アンケートの中で守谷市に住むに当たっての理由において、緑が多いというようなことが常に1番目です。そのような中で、清掃ボランティアのお話が出ましたけれども、確かに清掃車があっても動いていない、非常にコストパフォーマンスの悪い状況でもありますので、調査して、現状がどうなっているか、それを動かすには何が必要なのかということも含めて検証させていただきたいと思います。勝手にごみ拾いしないでというような職員がいるのことは信じがたいです。職員の意識改革は大切であると思います。守谷市をきれいにしてくれる方がいてこそ守谷市ですので、しっかり対応していきたいと思います。ガードレールについても、対策を考えていきたいと思います。また、先ほどのプロムナード水路を埋め立ててということでございますが、それも一つの案だと思いますので、併せて考えてまいります。

(参加者)

市内において、渋滞箇所が多く見受けられます。例えば、北園交差点や滝下橋は、とても渋滞しています。今後、つくばみらい市側の都市軸道路が開通すれば、また車の流れが変わるかもしれません。守谷高校の前などを抜け道、ひがし野地区にも抜け道あり、生活道路に波及する渋滞もあると思います。また、抜け道の車はスピードが

出ています。それらの対応はどのようにお考えですか。

(市長)

滝下橋付近の件ですが、県道の計画があり、現在の橋の上流に新しい橋をかけるということになっています。この計画が進まない状況ですが、今後、スマートインターチェンジの設置やその周辺の区画整理事業が進むにつれ、県道の一部が開通することになりますので、それを機に強く県に要望してまいりたいと思います。また、ブランズシティ前の交差点は、これから取手方面の道が整備されると、交通量がもっと増えると思います。併せて、都市軸道路の2車線が開通すれば信号の時間差が短くなると県からは聞いておりますので、その状況を見た上で、県に要望させていただきます。

(参加者)

一つ目は、守谷市の市政の広報の仕方についてです。個人的な目線にはなってしまっていますが、若い人たちは、つくば市や柏市、流山市などと比較して守谷市を選んでいますが、一方で、市の職員の話聞いてみると、比較しているのが常総線沿線、県内の市を見ているかなと思うところがあります。つくばエクスプレス沿線の市議会議員は、SNSを活用されていて、うらやましいような情報、良い面しか出していないかもしれませんが、学校の新設、学校の安全確保の活動をしているとか、保育園の話とか、明るめな宣伝が聞こえてくると、正直うらやましくなってしまいます。一方で、守谷市は、市のプロモーションが上手じゃないのかなと思うところがあります。先ほど掲げいただいている目標に対しても、今後どのように実施して、どのような成果が上がったとか、そういう情報が一切とりにくいと思っています。宣伝しないことはデメリットであると思います。積極的に市長や議員の皆様がSNSやWEBを活用して、こんなに仕事をやっていますとか、こういった地域ではこういった問題があって、今こういうことをやっているとか、そういうことをもう少し周知してほしいと思います。二つ目ですが、今回の学校の過大規模校問題に関連して、今、小学校もとりあえず選択制で分散して、中学校は校舎をつくるから大丈夫って言っていますが、その大丈夫を毎回付け焼き刃みたいな対応されてしまうと、信じられないと思ってしまいます。随時、課題に対してどういう対応を考えているかということを公にしていきたいです。最後に、対応が難しいと思いますが、小児の緊急外来、病児的なサポートを検討していただきたいと思います。

(市長)

情報発信については、ご指摘のとおりまだまだ足りないなと思いますし、担当部署と検討させていただきます。松並青葉地区の人口推計ですが、これは今さら言うとしてすべてが言いわけになってしまいますが、当初のお話をさせていただきますと、当初は、

マンションではなくて全てが戸建て住宅の予定で、その時点で当時議員だった私も新設校をつくらなくても大丈夫であるという教育委員会の判断に賛同しました。その後、戸建て住宅からマンションに変更され、当初とは人口推計が異なりました。また、特別支援教室が増え、教室が不足するという事態となってしまいました。人口等を適正に把握していくことは、非常に難しいですが、その責任は痛感しております。緊急外来でございますが、私も昨年暮れに、ある病院から4月から夜間の外来を受け付けられないというお話がございまして、理由を聞きますと、働き方改革でドクターも含めて、今までは好意で夜間も診ていただいていたのですが、もうそれ以上働かせられないから夜間診療ができないとのことでした。人の命を助けるという、ドクターの本来の目的、病院の目的がありながら、労働条件としてダメだと言われたからできないということがあってはならないと思い、多方面に働きかけ、3月の時点で保健所の方との調整ということで、小児の夜間診療は1時間ぐらい短くなりますが、受け入れられるということになりました。事業体としては行政ではないので難しいですが、行政もできるだけサポートしながら、市民の皆様の、特に子どもたちの命を守ることでございますから、今後、国に対して要望活動等も継続したいと思います。

【市長挨拶】

皆様、本日は、大変ありがとうございました。本日、貴重なご意見をいただきましたので市政に生かしていきたいと思います。今後も、皆様からご意見をいただきながら市政運営を行っていきたいと思います。引き続きよろしくお願いいたします。